

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日時：令和4年7月7日（火）

14:00～14:45

場所：松江市立恵曇小学校

対象者：同校6年生 11名

指導者：○6年生担任

○島根県古代文化センター 2名

1. 主題名

「学校周辺の遺跡と奈良の大仏」

2. ねらい

- ・ 「奈良の大仏」の大きさをパズル組み立てにより体感する。その巨大さに込められた先人の願いについて考える。
- ・ 小学校校区内にある、「奈良の大仏」の時代の人々の生活や道具を知り、地域の歴史や文化財に対する興味・関心を高める。

3. 本時の展開

学習活動	指導者の支援および留意点
14:00～14:10（10分） ① 小学校近くの奈良時代の遺跡を知る	・ 小学校近くにある古浦砂丘遺跡について、発掘調査のようすや見つかった物の写真を使い説明する。 ・ 『出雲国風土記』に書かれた恵曇浜のようすも交える。
14:10～14:40（30分） ② 「奈良の大仏」の大きさを体験する ・ 1m四方のパネルをパズル形式で組み立て、高さ16mの大仏を完成させる。 ・ 大仏の大きさを写真撮影や観察で体感する。	・ 「奈良の大仏」の実物大パネルは、事前に体育館内で用意しておく。
14:40～14:45（5分） ③ 小学校近くの奈良時代の遺跡や、「奈良の大仏」の大きさといった、本時に学習したことをふりかえり、まとめる。	・ 子どもたちの「気づき」を大切に、適宜感想などで応える。

4. 準備物など

- ・ 小学校）手袋、ペーパータオルないし雑巾（パネル取り扱い用）
- ・ 古代文化C）「奈良の大仏」実物大パネル、アルコール溶液、説明パネル